



給食だより

令和5年 1月号
川口市立根岸小学校



毎月19日は食育の日です

新学期が始まりました

新年、明けましておめでとうございます。お正月休みも終わり、新しい年を迎えて、根岸小学校には子どもたちの活気が戻ってきました。いよいよ残り3か月です。今年もたくさんのご経験をして、充実した毎日を過ごせるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。食事・運動・睡眠のバランスをしっかりと守って、健やかな一年を過ごせるようにしましょう。

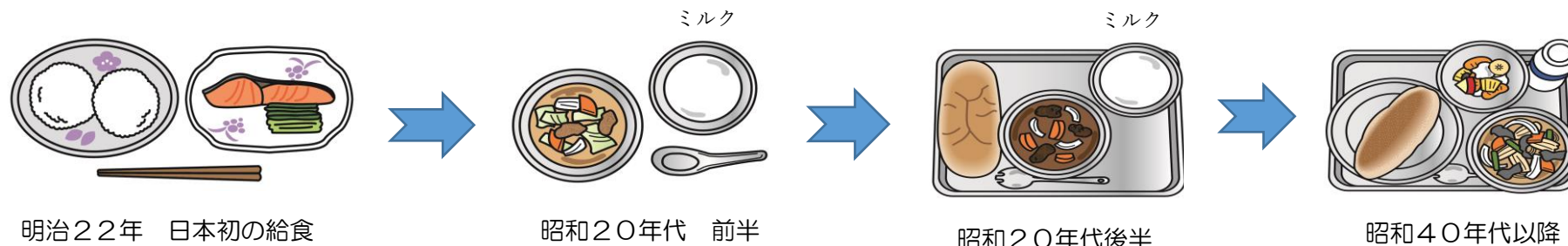
全国学校給食週間



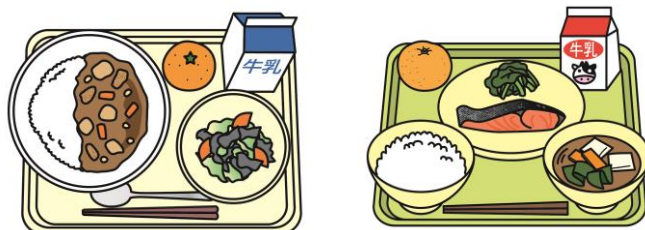
1月24日から31日までは、「全国学校給食週間」です。

日本の学校給食は、明治22年に山形県鶴岡町（現鶴岡市）で昼食を持参できない子どもたちのために、おにぎりや塩づけ・漬物を用意したのが始まりです。その後、戦争のために一時中断しましたが、戦後の食糧難により児童の栄養状態が悪化したことから、再開を求める声が高まり、昭和21年12月24日に東京都内の小学校で、ララ（アジア救済公認団体）からの給食物資によって再開されました。その日を「学校給食感謝の日」とし、冬休みと重ならない1月24日から30日までを「全国学校給食週間」としました。

<学校給食の歴史>



現在の給食



学校給食は、長い歴史の中で、児童の心身の健全な発達と国民の食生活の改善に寄与する学校給食の明確な法的根拠が位置づけられました。また、学校給食を特別活動の中の「学級指導」の一つとして、食事の正しいあり方の体得、好ましい人間関係の育成などの指導方針が明示されました。現在では、学校給食を「生きた教材」として、地場産物の利用を図り、郷土料理や伝統料理を献立にとりいれています。